

森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会 議 名	令和6年8月森町教育委員会定例会					
開 催 日 時	令和6年8月23日（金）13時30分					
会 場	森町文化会館 第2研修室					
出席委員	教育長 委 員 委 員 委 員	野口和英 村松昌吾 早馬保男 宮崎智栄				
出席者	学校教育課 健康こども課	課長 課長補佐 庶務係長 学校管理係長 課長	塩澤由記弥 土屋成弘 鈴木真央 高橋弘毅 朝比奈礼子	社会教育課 文化会館企画管理係長	課長 課長補佐 課長補佐 社会教育係長 社会体育係長 文化振興係長	三澤由紀子 堀内裕文 磯谷博俊 中村美幸 川合一樹 山崎俊輔 新貝将也
傍 聴 者	なし					

1 開 会

教 育 長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-------	------------------

2 前回会議録の承認

教 育 長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委 員 全 員	質疑なし承認。
教 育 長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を行う。

3 教育長の報告

教 育 長	8月に開催及び出席した各種会議等について報告する。 1日・課長会議 ・北海道森町児童生徒友好親善訪問団受入最終日 ・磐田医師会長・磐周学校保健会事務局長来庁 2日・森町幼小中一貫教育の日 (森町文化会館) 6日・役場職員組合来庁 ・遠州の小京都リノベーション推進会議 ・森の夢づくり大学理事会 7日・社会教育委員会 8日・南海トラフ地震臨時情報発表に伴う第1次配備態勢 9日・警戒本部会議	(総務課からの連絡等) (児童・生徒9名、引率者6名元気に帰北、実り多き交流) (脊柱側弯症健診の現状報告及び今後の取組について協議) (SSW鈴木真理氏の講話 各中校区研究協議会) (新役員の挨拶) (事業進捗状況、城下地区の計画等) (今後の計画について協議) (社会教育施設利用状況、今後の取組等) (本部会議、情報収集、職員配置、住民への周知等について協議) (第1次配備態勢に伴う各課の対応、連絡調整等)
-------	---	---

	11日・高林賞授与式(森町総合体育館) 15日・森町納涼花火大会 ・南海トラフ地震臨時情報発表に伴う 第1次配備態勢終了 16日・課長会議 17日・森町戦没者追悼式・平和祈念式 (森町文化会館) 19日・臨時議会 21日・いじめ撲滅サミット ・臨時校長会 23日・磐周地区教育長会(磐田市役所) ・教育委員会定例会 26日・主幹・教務主任研修会 28日・森町交通安全推進会議 30日・課長会議 ・園長・校長会	(授与式への出席) (来賓として出席) (気象庁の注意情報終了に合わせて) (総務課からの連絡等) (式典への出席、閉式の辞) (一般会計補正予算) (各小中学校の取組への講評) (出席の取り扱い、熱中症対策等) (令和6年度人事異動について協議) (8月定例教育委員会) (来賓挨拶) (秋の交通安全県民運動に伴う森町実施計画について) (総務課からの連絡等) (和顔愛語(2) 教育委員会行事等)
教 育 長	教育長の報告について、質疑を求める。	
委 員 全 員	質疑なし承認。	

4 付議する案件

【議 事】

教 育 長	議事について事務局に説明を求める。 議第20号について説明を求める。
文化振興係長	議第20号 森町指定文化財の指定について 森町文化財保護条例第24条第1項の規定により、資料にある文化財を森町指定民俗文化財に指定したく、教育委員会の議決を求める。 今回指定する文化財は、比雲社及び谷本社の屋台天幕であり、5月27日付で森町指定民俗文化財候補の指定について文化財保護審議会に諮問した結果、文化財保護審議会より、「森町指定民俗文化財に指定することが妥当である」との答申があったため、答申のとおり指定するものである。以上、審議をお願いする。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委 員 全 員	質疑なし承認。
教 育 長	議第21号について説明を求める。
社会教育課長	議第21号 令和6年9月補正予算の提出について 令和6年9月森町議会定例会に補正予算を提出したいので、教育委員会の議決を求める。歳出について、文化振興総務経費として473千円を計上する。6月議会において、台湾交流の関係で藤江勝太郎氏、鈴木藤三郎氏の動画を作成し、それに台湾語と英語のテロップを入れるための予算を認めていただいた。さらに、その動画に誘導するチラシの作成も現在進めているところであるが、この度11月に鈴木藤三郎特別展が台湾で開催され、また台北で行われる茶業博覧会に森町がお茶を出展する関係で、町長が11月15日から18日の日程で茶業振興協議会として視察に行かれる。鈴木藤三郎特別展は11月16日に行われ、同じタイミングでの開催となるため、町長は茶業博覧会に行きながら、別行動で鈴木藤三郎特別展に台湾内で移動する予定である。社会教育課としては、町長が特別展に向かう経費を負担するということで、手土産代や台湾内移動手配等委託料等を計上している。また茶業博覧会や藤江勝太郎氏の関係施設にチラシを置かせていただくための郵送料も計上している。鈴木藤三郎特別展に関しては、「歴史伝統文化保存会藤三郎顕彰会」というものがあるが、文化会館の前館長である村松達雄氏が調整役としていろいろ手伝っていただいていることから、村松氏に対する謝礼や展覧会へ同行するための交通費も予算計上してい

	る。 次に保健体育振興費の全国大会等参加補助金として、全国大会に出場した場合に町から補助金を出しているが、今年度の前半に年度を跨いだ申請が3件程あり、それ以降も全国大会等に多数出場されている方達が令和6年度分だけでも7件あり、7月末時点で当初予算の110千円を使ってしまうことから、残り8ヶ月で不足するであろうと思われる140千円を追加補正して対応するものである。以上、審議をお願いする。
教 育 長	以上について質疑を求める。 町からは、町長のみ出席するのか。
社会教育課長	お茶の関係で産業課が同行するが、鈴木藤三郎関連では町長が台湾内で移動する。
委 員 全 員	他に質疑なく承認。

【報告事項】

教 育 長	続いて報告事項について事務局に説明を求める。 報第21号について説明を求める。
庶 務 係 長	報第21号 町費会計年度任用職員の任用について 8月1日付で社会教育課文化振興係に高木さんを任用したので報告する。理由としては、社会教育係の正規職員が退職したことに伴い、文化振興係で任用していた村松さんを社会教育係へ配置し、欠員となった文化振興係に高木さんを新規で任用するものである。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委 員 全 員	質疑なし承認。
教 育 長	報第22号について説明を求める。
学校教育課 課 長 補 佐	報第22号 令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)について 日本伝統である「能」を鑑賞する機会を設けるということで、中学生を対象に芸術鑑賞を行う。内容は資料にあるとおりで、ワークショップ及びオーディションを実施し出演する生徒を各校1名ずつ選ぶ。本公演は9月20日(金)文化会館大ホールで開催するため、教育委員の皆さんにもぜひ参観をしていただきたい。
教 育 長	以上について質疑を求める。 ワークショップについては旭が丘中のみ実施するのか。
学校教育課 課 長 補 佐	旭が丘中だけでワークショップを行うため、本公演の際にはワークショップの内容を兼ねた説明を取り入れながら実施する。
委 員 全 員	他に質疑なく承認。
教 育 長	報第23号について説明を求める。
庶 務 係 長 社会教育課長	報第23号 令和6年度森町教育委員会自己点検・評価報告書(令和5年度分)について 令和6年度森町教育委員会自己点検・評価については、報告書としてまとめたものを先月の定例会で審議いただいた。その後、外部評価委員3名に確認してもらい意見や助言をいただいたので、それらを踏まえて担当課で再度確認のうえ修正した部分があるため報告する。 資料P13(2)文化活動の振興の「文化財や歴史的景観などの保護・保存・活用」については、活用の部分の記載がないという指摘により追加をした。次に「歴史的・文化的資産を生かした町づくりの推進」については、指摘に対して表現を整理した他、例年と違う取り組みを評価しB評価をA評価に変更した。「文化団体や指導者・文化財伝承者の育成」については、目標に対して記載内容が一致していない部分があったため改めた。「資料の収集と調査、整理の推進」については表現を整理し、「展示方法や企画の研究」について

	は、B評価の理由が分かるように記載を改めた。(3)図書館の充実と利用促進の「郷土資料の収集と整理・保管」については、郷土資料に関する課題を整理し、記載を改めるとともに内容に合わせて評価を修正した。(5)スポーツの振興の「生涯スポーツの普及」については、町外に向けた取り組みが記載されていたため削除し、実績等を具体的に追加した。「スポーツコミュニティづくりの推進」については、定数を充足すれば良いのかという指摘を踏まえて表現を改めた。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委 員 全 員	質疑なし承認。
教 育 長	報第24号について説明を求める。
健康こども課長 文 化 会 館 企画管理係長 社会教育課 堀内課長補佐	報第24号 その他の報告について その他の報告について、まず令和6年度国庫補助事業飯田第2放課後児童クラブ修繕として7月25日に岡野建設(株)と契約を行った。期間は7月26日から8月30日までで金額は2,838千円である。飯田小の放課後児童クラブにおいて待機児童が出ているため、飯田第2放課後児童クラブを新規に開設するための修繕である。 次に文化会館において2件の契約について報告する。令和6年度地震・津波対策減災交付金事業森町文化会館小ホール吊り天井耐震補強設計等業務委託として(株)竹下一級建築士事務所と契約した。契約日は7月11日、期間は7月16日から10月15日までで金額は2,970千円である。こちらについては、小ホールの吊り天井耐震補強設計であり今年度は設計、来年度に工事を想定したものとなっている。契約先については、令和2年度に図書館の耐震設計を行った業者と同じである。続いて令和6年度町単独事業森町文化会館長寿命化対策音響設備改修工事として7月31日にヤマハサウンドシステム(株)と契約した。契約日は7月31日、期間は8月1日から令和7年3月21日までで金額は49,390千円である。こちらについては、大ホールの音響設備の改修であり、各種スピーカーやアンプ、操作盤、各種基盤の交換を行う。こちらについては、平成7年の開館以来、音響設備の更新実績がなく老朽化の進行が深刻な状況であるため改修を行うものである。契約先については、当館の音響設備の保守を委託しており当館の音響について熟知している業者である。 次に社会体育係において、令和6年度町単独事業森町営グランドトイレ浄化槽改修工事として(有)富士鉄工と契約した。契約日は8月2日、期間は8月5日から10月31日までで金額は5,654千円である。町営グランドは昭和59年度に完成し40年近く経っていることから、経年劣化による管理棟トイレの浄化槽の交換を行うものである。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委 員 全 員	質疑なし承認。

5 連絡事項

教 育 長	連絡事項について、説明を求める。
庶 務 係 長	次回定例会を9月25日(水)13時30分から第2研修室で開催予定。

6 閉 会

教 育 長	以上で本日の日程を終了し、閉会とする。 13時55分閉会
-------	---------------------------------

上記のとおり、会議の顚末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 教 育 長

委 員

委 員

委 員

事 務 局
